

京都女子大学大学院文学研究科

研究紀要

史学編

第20号

研究紀要
史学編
第二十号

二〇二一年

令和3年

京都女子大学

京都女子大学

HISTORICAL STUDIES

Journal of the Graduate School
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

NO.20

Contents

Articles

Political and Diplomatic Initiative of Mongol-Yuan on the Envoy's Negotiations. A Consideration of its Diplomacy with Japan in the Late 13th Century

UEMATSU Tadashi (1)

Vicissitude of the Market Rights in the High Medieval France: From the Comparative Analysis on the Administration of Money Mints.

YAMADA Masahiko (1)

Document

A Japanese Translation of Zayn al-Dīn al-Ma'barī al-Malībārī's *Tuhfat al-muğāhidīn fī ba'ḍ aḥwāl al-Purtukāliyyīn* (6)

TANIGUCHI Junichi (27)

Recent Publication

Hattori Yoshihisa, *Communication and Order in Medieval Europe: Conflict, Peace and Ritual*, Kyoto University Academic Press, 2020

INOUE Kokoro (41)

Miscellaneous Records (61)

2021

Kyoto, Japan

目次

【論文】

モンゴル・元朝の対日遣使と日本の対元遣使	植松正	1
中世中期フランス王国の「市場権」形成史―造幣権との比較を通して―	山田雅彦	1

【訳注】

ザイン・アッデイン・マアバリー・マリバーリー著 『ポルトガル人の状況に関するジハード戦士の贈り物』訳注(6)	谷口淳一	27
---	------	----

【新刊紹介】

服部良久著『中世のコミュニケーションと秩序―紛争・平和・儀礼』	井上こうろ	41
---------------------------------	-------	----

【彙報】

.....		61
-------	--	----

二〇二〇年度 大学院行事

二〇二〇年度 博士論文題目

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は以下の行事の開催を見合わせました。

大原 眞弓 平安時代の即位儀礼と仏舍利信仰

—— 一代一度仏舍利使をめぐって ——

卒業論文発表会

大学院歓送迎会

春期例会

秋期例会

二〇二〇年度 修士論文題目

植村 沙彩 室町幕府における御台・女房の政治的活動

郷原 綾乃 古記録からみる院政期の袴着用について

玉置理華子 張作霖の安国軍総司令就任とその背景

—— 軍閥間の関係性を中心に ——

修士論文中間発表会 十一月十一日・十二日・十三日

袴着用から見る権勢者の諸様相 M2 郷原 綾乃

軍閥交流から見る第二次奉直戦争前後の政治闘争 M2 玉置理華子

十六世紀スコットランド宗教改革における教会運営と聖職者 M2 葉山佑里子

檀上 遼 十・十一世紀における女院創設の要因と存在意義

意義

西園 奈那 エフェソスのアルテミスとその神官

葉山祐里子 十六世紀スコットランド宗教改革と「聖職者」

者」

藤田 麻里 近世京都祇園社門前地域における茶屋株と遊

所化

エフェソスのアルテミスとその神官

一〇・一一世紀における女院創設の要因と存在意義 M2 西園 奈那

一〇・一一世紀における女院創設の要因と存在意義 M2 檀上 遼

近世京都祇園社門前地域における新地開発と花街化について
M2 藤田 麻里

修士論文構想発表会

二月二十四・二十五日

例年M1が行ってきた秋期例会が中止になりましたが、その代替研究会として、M1の六名が今年度の研究内容の総括し、今後予定している修士論文の構想を述べる場をズームによる開催で実施しました。報告者の顔ぶれは次の通りです。

巖瀬、三森風音、山本佳乃（以上三名、日本史専攻）

小栗佳那、竹澤美桜、中本優衣（以上三名、西洋史専攻）

『京都女子大学大学院文学研究科紀要―史学編』掲載論文・資料等の京都女子大学学術情報リポジトリへの登録と公開申請について

京都女子大学では、二〇一三年度より、学内の学術研究成果物を電子的に収集・保存して学内外に無償で公開し、広く社会に提供することを目的とした「京都女子大学学術情報リポジトリ（京女AIR）」の運用を開始しました。それにともない、『京都女子大学大学院学術研究科紀要―史学編』におきましても、執筆者全員に対し、あらかじめ同紀要掲載論文・資料等のリポジトリへの登録と公開への申請をお願いしております。この登録と公開申請の手続きは、公開に必要な複製権と公衆送信権の許諾をお願いするもので、著作権の譲渡をお願いするものではありません。

今後、本紀要に投稿される方のご理解とご協力をお願いします。

編集後記

『京都女子大学大学院文学研究科研究紀要―史学編』第二十号をお届けします。コロナ禍に見舞われた本年度は、教員も大学院生も自身の研究を進めることに苦勞しましたが、本号でも何とか論文二点、訳注一点、新刊紹介一点の計四点を掲載することができました。寄稿者の皆様にお礼申し上げます。

二〇二〇年度の本学大学院文学研究科史学専攻の現況を報告いたします。本年度の新入生は、博士前期課程六名（日本史三名、西洋史二名）の計六名です。博士後期課程への新規の入学者・進学者はいませんでした。この六名を含む、博士前期課程十四名（日本史七名、東洋史二名、西洋史五名）、博士後期課程三名（日本史一名、西洋史二名）、特別研修者一名（日本史一名）、研修者三名の計二十一名が在籍しています。

彙報欄に記載した通り、特別研修者の大原真弓氏が博士論文を提出し、学位を取得されました。学外からの申請者は、残念ながら今年はありませんでしたが、今後も着実に学位取得者が出ることを期待いたします。

執筆者紹介

植松 正（うえまつ ただし） 本学元教授
山田 雅彦（やまだ まさひこ） 本学教授
谷口 淳一（たにくち じゅんいち） 本学教授
井上 ころろ（いのうえ ころろ） 本学大学院博士後期課程
（掲載順）

京都女子大学大学院
文学研究科研究紀要
史学編 第二十号

二〇二一年（令和三年）三月一五日発行

編 集 京都女子大学大学院文学研究科
史学専攻（博士後期課程）

発 行 京都女子大学

〒六〇五―八五〇―一

京都市東山区今熊野北日吉町三五

電話 〇七五―五三一―七〇五一（代表）

印刷・製本 株式会社 昭英社

〒六〇〇―八二一九

京都市下京区五条通河原町西入ル

電話 〇七五―三五一―一八一―（代表）